

# ニュース

第206号

発行日 令和元年12月5日  
発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資  
〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20  
電話 0299 (69) 2222  
FAX 0299 (69) 2237  
ホームページ <http://nakadaiikushinen.jp/>

## 今月の生活目標

### 【単元】

□ 勤労の尊さ



### 【目標】

- 勤労の意義や尊さを知り健康で働ける（生活できる）ことに感謝できるようになりましょう。
- 喜んで働く態度や親切な心を持って、皆のために尽くしましょう。

## やりきれない気持ち

サービス管理責任者 千葉 博

私事になりますが、8月のある休日の朝の出来事。買い物のため、車を使用し自宅からほど近いコンビニ駐車場に駐車、買い物を終え乗車し、エンジンをかけそのまま停車していたら、斜め前方に駐車していた車（ミニカーパー）が勢いよくバックし、ブレーキをかけることもなく突然、私の車（運転席側のドア）に衝突するという事故が発生した。

衝突された瞬間は、大きな衝突音と衝撃による振動に驚いたと同時に、現実をすぐに受け止められない心境でもあり、動揺を隠せず「落ちて着け」と自分自身に問いかけたがその瞬間、悲劇はまた訪れる。衝突してきた車は停車することなく急に前進し、当て逃げ（逃走）を図ったのだ。怒りがこみ上げ、相手の車種とナンバー4桁だけは記憶に留めようと必死だった。瞬間的な出来事のためスマホで写真を撮る余裕もなく、相手に対してクラクションを鳴らすのが精一杯であった。

幸い、怪我はなく安心したが、衝突されたドア部分に大きな凹みと傷があることを確認し、すぐに警察に



みんなの広場見学

通報。家族や保険会社、ディーラー等にも順に連絡した。ドライブレコーダー（前方、後方）は取り付けてあったが、エンジンをかけていない状況で駐車していたらと思うとぞつとする反面、角度的に鮮明に記録されているか不安でもあった。

事故発生から15分後、警察署員2名が事故現場に駆けつけてくれ、事故状況を説明する。運よく、コンビニ駐車場で事故であり、店の防犯カメラが設置してあったため、署員が直ぐに確認。事故の衝突場面や相手の車種やナンバーも鮮明に映像として記録され、映像が決め手となって、私には過失がなかったことが証明され、そして、相手を特定出来次第、逮捕しすぐに連絡するという話をいただいた。私は安堵感に包まれ、事故の解決も時間の問題と高を括っていた数日後、警察署から電話があり、相手は特定できたが、住所地の家にも職場（自営）にも不在で逃走しており捜索中とのショックな

話を聞かされ、被害者として相手に対し、これまで以上に憤りを感じた。2か月以上経った現在も、逃走した犯人の所在が分からないままの状態が続いている。その間、衝突された自分の車は、保険を使わず自費で修理した。警察にも時折連絡して、状況を説明してもらっているが、私としては、相手が特定されているのに、何でまだ見つけられないのかと、小さな事故が故に警察の事故に対する取り組みに対して不信感さえ抱くようになっていく。

近年、至るところで防犯カメラの設置が進み、様々な犯罪において防犯カメラの映像が動かぬ証拠となり、犯人逮捕に結びつくケースが急激に増えている。今回の私の事故においても、防犯カメラの恩恵を受けたことも事実。

数年前、当園及びグループホーム（女子）にも数か所、屋外に防犯カメラを設置し、不審者対応に心掛けているが、不審者のみならず、当園の無断外出者の捜索において、外出時間や身なり、外出方向等の情報をいち早く知る上でも防犯カメラを設置したことが思わぬ効力を発揮することがあり、利用者にとっても安心・安全につながることもあるのだが、出来るなら、カメラ映像を利用する機会のない平穏な生活を切に願いたい。

# 「自信を持って」

生活支援員 榊原 怜奈

私には、日々支援している中で心掛けています。それは、「利用者さんが自信を持って毎日笑顔で過ごせるような環境をつくる」ということです。

あざみグループで、ごみ出しの係を毎日一生懸命頑張ってくれているSさんは、今年度、ひまわりグループからあざみグループに移動してきました。私自身も今年度からあざみグループ担当となったので、Sさんと私はあざみグループ1年目の新人同期です。そんなSさんですが、グループを移動した直後は何をしていたかわからず戸惑っている姿が多くみられました。しかし、最近は環境に慣れたのか、係分担の仕事にも、その他のグループの仕事にも積極的な姿勢がみられるようになってい

ます。Sさんに「いつもありがとう」と伝えると、笑顔で「こちらこそ！」。「お仕事は楽しいですか？」と聞くと、「楽しいです！」と、楽しそうに笑っていました。あざみグループになってからまだ7か月。短期間での変化は支援員として嬉しい限りですが、前年度までのSさんをおもうと、こんなに仕事に前向きにな

つてくれるとは思っていませんでした。ですが、Sさんのおかげで何事に対しても「できない」と決めつけるのではなく、その人が「頑張れる場所や、できる環境をつくる」ことが大切なのだということを学ぶことができました。Sさんは、できる喜びが自信につながったことで、自信を持って毎日を過ごすことができているのだと感じています。

私が支援員として働くようになって3年3か月。まだまだ未熟で経験も少ないです。ですが、これからもっと利用者の皆さんと色々なことにチャレンジし、たくさんの方を学んでいきたいと思っています。そして、皆さんのたくさん笑顔を見ることができたら、それが私の喜びなのです。



みんなでアロハ〜♪ (フラダンス慰問)

## 「農耕班だより」

生活支援員 井 関 秀 一

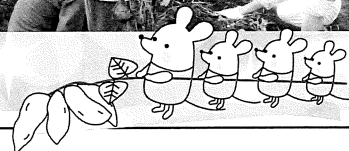
農耕班には1人1人に目標があります。鳥居さんは1人で畝(うね)を作ってマルチを張れるようになる。星野さんは種まきから収穫、納品まで責任を持って行う、細田さんはいろんな野菜の栽培の方法を覚える等、各々の能力に応じた目標を設定していき、年度末に目標に対しての反省を行い、翌年度の新たな目標を設定していきます。

1年を通して高いモチベーションを維持することは自分でもなかなか難しいことですが、農耕班に所属する利用者さんは、野菜や果樹の収穫を楽しみにして、日々意欲的に作業に参加されています。今年はブルーベリー、にんにく、じゃがいも等の野菜を、秋には、ふれあい班の皆さんと一緒にさつまいもや紫いもの収穫もしました。

収穫した野菜が給食の材料で使われると「農耕班が作った野菜だよ!」「僕が畝を作ったんだよ!」「暑い日でも水やりしました!」と、自信満々の声が聞こえてきます。野菜作りを通して、やり抜く力や、目標に対する姿勢、認められる喜びを育ていけるようサポートしていきたいと思



今年も豊作でした!



# グループだより

## ★ひまわりグループ

### 『今年もがんばれ』

#### アスリート!』

今年度も鉾田マラソンに細田さん、倉嶋さん、鳥居さんが参加します。令和最初のマラソンですので、みなさんいつも以上に張り切っています。11月に入る前から朝の体力づくりの時に走り込みを始めました。今回の目標は、「みんなで記録更新!」です。目標を掲げると、全員「がんばります!」とのこと。細田さんは去年のスコアの確認。鳥居さんは体力アップのために休日の昼間にも走っています。倉嶋さんは相変わらずのマイペースです。

本番は12月15日。まだ時間はありますが、体調に気を付けてがんばっていきましょうね! (豊田(惇))

## ★すみれグループ

### 『あっという間の半年』

4月になでしこグループからすみれグループにお引越しをした吉成さん。最初の頃は緊張していたのか、おしゃべりが大好きだった吉成さんが遠慮がちになってしまっていて、少し心配していました。ですが、元々すみれグループで長く過ごしていただけあって、半年を過ぎた今ではもうすっきりすみ

れの一員です。

吉成さんは、地震に気づくと誰よりも早く窓を開け、雨が降ってくるも先に窓を閉めに行ってくれます。グループの若手には優しく教えてあげていたり、楽しい時間にはとびつきの笑顔を見せてくれます。これからもすみれグループの頼れるおばあちゃんदैいてくださいな。

(横田)



おいもがたくさん…豊作?! (ファーマーズヴィレッジ)

## ★あざみグループ

### 『ジェスチャーでお話』

大野さんは、コミュニケーション手段として全身を使ってジェスチャーで気持ちを伝えてくれます。お風呂のある日は朝から体をごしごし洗うジェスチャー、模擬演奏の日は大野さんの担当しているラップを吹くジェスチャー、ミュージック・ケアの日は自分の大好きな曲の振り付けを踊っています。ジュースの日には、満面の笑みで自動販売機を指しながらジュースを飲む動きで、おや

つの時間を楽しみにしています。

そんな大野さん、たまに見たことのないジェスチャーをすることがあります。そのときは何を伝えたいのか考えながらジェスチャー大会が始まって、そんな時間も私たちの大切なコミュニケーションになっていきます。見事正解すると、豪華賞品の大野さんの素敵な笑顔がもらえますよ!

(長岡)

## ★なでしこグループ

### 『みんなのムードメーカー』

いつもニコニコ小野口さん。先日、大学生が施設実習に来た時も、積極

的にコミュニケーションを取ろうとしていました。初めての場所にとまどっている実習生の近くに行って、にっこりスマイル♥両頬に人差し指を当てて、『由美さんポーズ』。愛嬌たっぷりの由美さんに、実習生の緊張もとけたようで、すっかり和やかなムードになっていました。なでしこグループは、小野口さんのおかげでいつも明るく楽しい雰囲気におかまれています。小野口さんは、困っている友だちには優しく手を差し伸べてくれる面もあります。明るく、正義感の強い小野口さん。これからも変わらずにいてくださいな。

(豊田(美))

## 「実習を終えて」

聖徳大学3年 佐藤春菜 小松愛

施設実習が始まる前まで、私たちの障がい者施設へのイメージはマイナスのものでしかありませんでした。しかし実習が始まると、そのイメージはすぐなくなりました。利用者の皆さんは優しく私たちを受け入れてくれて、明るい笑顔を見せてくれました。施設は障がいのある人が社会生活を送ることができるように支援する場所であり、また、利用者さんが社会生活におけるマナーを身につける場であるということがわかりました。

11日間という短い間にたくさんの貴重な経験ができました。皆さんの笑顔は忘れません。ありがとうございました。

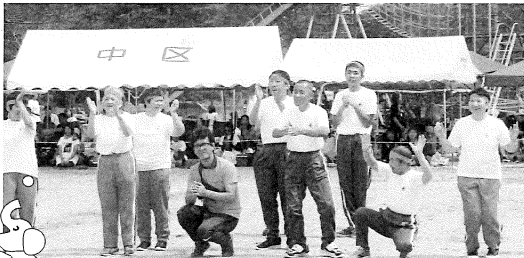


# スポーツの秋

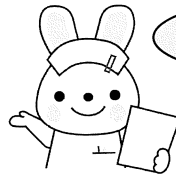
それっ!!入れ!!



今年の標語はこれ!



(中野西小学校運動会)



医務室より

## 「清潔手洗い」

看護師 小沼純子

インフルエンザ、ノロウイルス等、感染症が気になる季節となりました。

さまざまな感染症から身を守るためには手からの侵入をシャットダウンするための『手洗い』がとても大切です。

流水や石鹸を使って、指先、手の甲、親指、指の間などの洗い残してしまいやすい部分も忘れずに!手を洗いながら「ハッピーバースデー」の歌を2回歌うくらいの時間をかけて(約20秒)、ていねいに洗いましょう。感染予防のためには、頻繁に手洗いを行うことが大切なのです。

正しい手洗い方法を身に付けて、健康な毎日を過ごしましょう!



## 跡 跡 跡

〔9・10月〕

【寄付】

▼多辺田昌代様 ▼飯島昭子様

▼小野口里子様 ▼池田洋様

▼飯島昭子様

▼日鉄住金ビジネスサービス鹿島様

【来園者】

▼アンサンブルウィズ様(演奏ボランティア)

▼永光パートナーズ 渡辺様(会計指導)

▼日立総合防災様(消火設備点検)

▼高坂防災様(消火設備点検)

▼アルソック 本郷様、針長様(AED講習)

▼マウント 阿部様(設備納入)

▼マイナビ 西様(打合せ)

▼モアニケアクラブ様(フラダンス慰問)

▼聖徳大学 菊池一晴様(実習巡回)

▼中野西小学校 4年生 14名(交流会)

▼小松崎史江様(施設見学)

▼日鉄住金ビジネスサービス鹿島 加治様(打合せ)

▼小美玉市役所 鈴木様(認定調査)

▼日立市役所 前多様、秋山様(認定調査)

▼県福祉相談センター 堀江様、中根様(療育手帳再判定)

▼貴達優雅様、ご両親様(施設見学)

▼藤沼貢様(施設見学)

▼池田洋様、邦子様(面会)

▼本谷雪絵様(契約)

【日中一時支援】

▼飯野泉さん

【短期入所】

▼篠田純一さん

▼藤沼光司さん

【施設実習】

▼聖徳大学(9月1日~12日)

小松愛奈さん、佐藤春菜さん

【9・10月誕生者】

▼橋爪恵子さん

▼眞壁裕大さん

▼湖林健司さん

▼石田直也さん

▼池田友子さん

▼平間尚輝さん

▼大田なおみさん

▼藤沼光司さん

▼鳥居貴裕さん

## 編集後記

令和元年ももう少して終わります。街の雰囲気も年の瀬に向けてにぎわっています。この時期、毎年思うことが、「今年は早めに年賀状を書こう」です。結局年末ぎりぎりになって出すことになっていた例年ですが、今年こそは!と、早速年賀状を購入しました。

そしてそれから半月。買ってきた年賀状は袋に入ったまま机の上に置かれています。まずは住所録を探さないと。ペンもインクもどこにしまったっけかなあ。そのために部屋の掃除をしないと・・・

無事年賀状を出せるまでに越えなければならぬハードルが、思いのほか高くそびえたっている霜月末なのです。

(チヨダ)

